

学びの架け橋 合同授業

4月22日（火）に、2年福祉コースは、3年福祉コースの先輩方に、車いすの扱い方を学びました。段差を上り下りしたり、車いすに乗りながら自動販売機を利用したりしました。利用者と介護者のどちらの立場も体験することで、それぞれの視点から気づきを得ることができました。

また、先輩方から「福祉とは何か」というテーマで授業をしてもらったり、今後、福祉コースで学習する内容を教えてもらったりしました。

今回の合同授業は、福祉への理解を深めるとともに、今後の学習への意欲を高める良い機会となりました。





<感想>

- 福祉は、高齢者や障害のある人だけでなく、すべての人に関わるものだと感じました。
- 車いすは単なる移動手段ではなく、利用者の生活の質を大きく左右する重要なものだとわかりました。実際に車いすを操作してみて、思った以上に技術が必要だとわかりました。